

ISSN 1342-0828



関西大学

図書館フォーラム

KANSAI UNIVERSITY LIBRARY FORUM

関西大学図書館

1997
第3号

図書館フォーラム 目次

巻頭言

大学図書館で働く人に捧げる10章……………山 野 博 史

講演記録

- 1 図書館セミナー
 - (1) アメリカ法の調べ方
～法律の背景と文献調査の実践～……………山 本 信 男……5
 - (2) インターネットによる法情報検索
～アメリカ法を素材として～……………田 中 規 久 雄・福 島 力 洋……10
- 2 王朝物語の本－写本から、古活字本・板本へ……………片 桐 洋 一……15

資料紹介

- 1 ヘルムート・コーイング教授の蔵書について……………岡 徹……20
- 2 A Collection of Turkish Culture and History……………新 谷 英 治……23
- 3 マイクロ版『日本の会社史』……………澤 井 浩 幸……26
- 4 平成9年度基本図書購入リスト……………28

図書館自己点検・評価について－報告書－……………自己点検・評価委員会……31

座談会

大学図書館夢がたり……………61

図書館活動報告

- 平成9年度活動報告、図書館出版物案内、図書館展示計画委員会報告……………71
- WWW版蔵書検索システムの紹介……………山 崎 秀 樹……76

図書館年史

図書館80年の歴史（三）
『関西大学百年史』とともにみる図書館の復興と拡充 ……船 越 一 英……83

『図書館フォーラム』投稿要項

レポート

関西大学所蔵「加納諸平翁消息文」について……………手紙を読む会……一

編集後記

正 誤 表 (図書館フォーラム第3号)

| | | 誤 | 正 |
|--------|------------|---------------------|-------------------------|
| 23 ページ | 左段 18 行目 | 因し <u>と</u> いる | 因し <u>て</u> いる (不鮮明なため) |
| 44 ページ | 左上端部 | _____ | ページを示す(10)を記入 |
| 65 ページ | 左段下より 6 行目 | やっぱり <u>電動書架</u> に | やっぱり <u>エレリフト</u> に |
| 65 ページ | 右段 1 9 行目 | もう一つは <u>電動書架</u> 、 | もう一つは <u>エレリフト</u> 、 |

『図書館フォーラム』投稿要項

『大学図書館研究』の原稿募集要項に準じて、概要次のように定める。

(1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・寄稿記事いずれの記事の場合でも、本学の教育職員並びに本学図書館所属専任事務職員を執筆者とする。

(2) 原稿の内容

次のいずれの場合でも、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

(3) 収 載

寄稿原稿が予定の紙幅を超える件数があったときは、収載順序を図書館長が決める。

(4) 謝 礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼と掲載号5部を贈呈する。寄稿記事の執筆者（署名記事執筆者）に対しては、1編につき掲載号5部を贈呈する。ただし、いずれの場合でも抜き刷りは提供しない。

(5) 投稿先

関西大学図書館図書情報管理課
(☎06-368-1121、内線4312)

(6) 執筆要領

- ア 原稿は原則として横書きとする。
- イ 原稿用紙を用いる場合は、本誌1ページにつき2070字相当とする。ワープロを使用の場合も同様とし、1行を23字とし45行を1ページとしてA4判用紙に出力のこと。また、本文中に図・表または写真を掲載するときは、その相当分の字数を割愛する。

ウ 原稿は次の順に記載する。

- ①標題、②執筆者名、③本文、④注記、⑤引用文献、⑥参考文献、および⑦職名・執筆者名のひらがな。

エ 原稿の表記は、次に従うものとする。

①漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある時は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」、「、」を用いる。

②数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。

③引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。

a. 雑誌論文の場合

筆者名“論文名”『雑誌名』巻(号)年月 ページ。

b. 図書の中の一部引用の場合

著者名“論文標題”『書名』(図書の著編者名) 出版地 出版者 出版年 ページ。

c. 図書の場合

著者名『書名』出版地 出版者 出版年。

d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す（印刷では、イタリック体活字になる）。

〔例〕 Downs, Robert B. “How to start a library school.” ALA Bulletin 52(6), 1995. 6, pp. 32-48.

オ 図・表は、図1図2、表1表2、fig.1のように記す。図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するときは、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図1図2、表1表2のように番号を鉛筆書きのこと。

カ 校正は、初校を執筆者に依頼し、2校目以降は図書館が行うのを原則にするが、必要のある場合2校目以降についても執筆者の協力をえるものとする。

以 上

編集後記

『図書館フォーラム第3号』発行までようやくこぎつけることができました。

初めて編集業務に携わり、右も左もわからなかった私は、これまでの業務とは「ひと味」違った純粋な喜びと、達成感をかみしめています。

本号には、新しい企画が盛りだくさんです。

「講演記録」では、初めて関西大学の構成員以外の方々（文化女子大学教授 山本信男氏、大阪大学講師 田中規久雄氏、同大学院生 福島力洋氏）に執筆していただきました。

「図書館自己点検・評価委員会」に関しては、2年に1度の報告の他、委員長（図書館長）山野博史先生の斬新な提案により実現した、若手図書館員が語る「座談会」の内容を掲載しています。

平成10年4月より、「WWW版蔵書検索システム」が本運用を開始します。このシステムには、大変なじみやすい「KOALA（コアラ）」という愛称がつけられました。使い勝手のよいものですので、この愛称と同様、なじんでいただけたらと思っています。

本号には紹介されませんでした。約1年かけて検討、着手してきた「関西大学図書館ホームページ」の全面改訂版が平成10年度より、いよいよ運用を開始することになりました。その内容は多様で、学内外に広くアピールできる、より魅力的なものに変身しておりますので、ご期待ください。

このように関西大学図書館は、これまでの伝統を大切にだけでなく、常に新しいものを追い求めています。そして今後もそうあり続けるよう、期待してやみません。

最後になりましたが、ご寄稿いただいた方々には、年末年始、そして入試と、特にあわただしい時期にもかかわらず、快くご執筆くださいましたことに、心より感謝いたします。編集の際、励ましてくださったり、ご協力いただいたりした多くの方々に、厚くお礼申し上げます。

なお、執筆者の肩書・部署は平成10年3月31日現在のものを付記します。

（市原亜希子）

関西大学 図書館フォーラム 第3号(1997)

平成10年5月20日印刷

平成10年5月29日発行

編集・発行 関西大学図書館

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-368-1121 (代)

印刷所 (株) 図書同朋舎

〒600-8805 京都市下京区中堂寺鍵田町2

TEL 075-361-9121~4 (代)

